



2005年アメリカ耳鼻咽喉科学会 (AAO-HNS) (ロスアンゼルス) に参加しました。

Mrs. Catherine R. Lincoln (AAO-HNS ディレクター・前列中央)、柳沢英治先生 (エール大学耳鼻科教授・前列右) ご夫妻、山藤勇先生 (ピッツバーグ大学耳鼻科教授・前列左) ご夫妻、大崎勝一郎先生 (徳島大学難聴診療部名誉教授・後列左)、木村守先生 (高松市耳鼻科開業・後列中央) と私 (後列右) の記念写真です。

(The Westin Bonaventure Hotel and Suitesにて)

耳鼻科開業医雑感 VI

藤本耳鼻咽喉科クリニック 藤本 政明

藤本耳鼻咽喉科クリニックのホームページを立ち上げました。インターネットや携帯電話による診察状況の確認ができるようになりました。<カルテの出し間違いを避けるために>、<診察における子供の抱き方>、<診察室出入りの方法について>も書いてみましたので参考にしてください。

1 当院ホームページ

(<http://www.fujimoto-ent.com>)
と携帯電話サイト
(<http://www.fujimoto-ent.com/i/>)
を立ち上げました。



ケータイで上のバーコードを読み取ると
携帯サイトにアクセスできます！

当院紹介と同時に現在の診察状況 (今、診察を終わった患者様番号) が確認できます。確認には、自分の予約番号を覚えておく必要がありますので、注意してください。

2 カルテの出し間違いを防ぐために

当院では、開業以来すべてのカルテを保存しております。過去に一度でも当院を受診されたことがある方は、すでに当院の通し番号 (診察券番号と同じ) がついたカルテが存在しています。しかし、たとえば過去受診されたことがある患者様で、受付でそのことを教えていただかなければ、新しいカルテを作ってしまうこととなります。また、患者様と同姓同名の方がいた場合、他の方のカルテを出してしまう可能性があります。当院受付ではこのようなことが起こらないように十分に注意しておりますが、100%チェックできるとは限りません。特に結婚されて苗字が変わったような場合には、チェックが不可能です。あなたと同姓同名の方が、世の中には結構おられます。以下の点に十分注意してください。

<初診の場合>

1. 当院に来るのは初めてと思っても、過去に来られていることがあります。そういう可能性がある方は、必ず受付にお名前と生年月日を告げ過去の受診歴があるかどうかをよく調べてもらってください。
2. 特に結婚などで苗字が変わった方は、必ずそのことを教えてください。

<再診の場合>

1. カルテの出し間違いを避けるには、ご自分の診察券番号を受付に提示していただくのが最も確実に間違いのない方法です。
2. もし診察券番号が分からない場合には、氏名と生年月日をお知らせください。

3 診察時の子供の抱き方

小さいお子さんを診察する場合には、頭をしっかりと固定する必要があります。しかし、お母さん方が慣れない場合は、頭の固定が不十分となり、正確な所見が取れないこととなります。右の図のようにしっかりと抱いてくださるようお願いいたします。

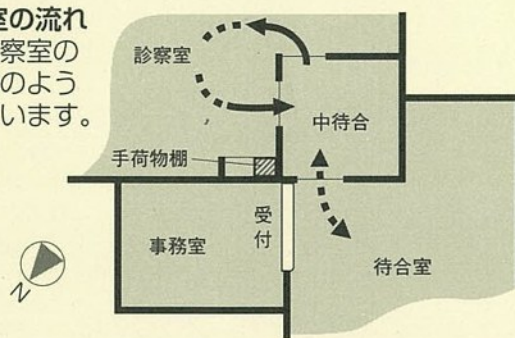


<診察における子供の抱き方>

1. お子様は正面に向けてお母さんのひざの上に乗せます。
2. 両手で子供さんの両手を持って体全体を抱きしめてください。
3. 両足は子供さんの足が出てこないように、図のように絡ませてください。

4 診察室の流れ

当院の診察室の流れは図のようになっています。



1. 中待合に入られたなら、必ず静かにしてお待ちください。子供さんが声を出されるようなら、もう一度待合室に戻っていただいても結構です。
2. 中待合から診察室には、図のように入ってください。
3. 手荷物は必ず診察室に持って入り、手荷物の棚に置いてください。
4. 診察が終わったら、手荷物を忘れないようにして図のように出てください。

5 感染の可能性がある方

インフルエンザ、おたふくかぜ、水疱瘡、はしかなど感染の可能性がある方は、必ず予約の時に受付にお申し出ください。

6 保険証の変更があった方

必ず、受付にお申し出ください。